

## VII. 留 学 制 度

## 【1】 海外留学制度

### 1. 海外留学 — なぜチャレンジするか —

本学には、非常に充実した留学制度があり、みなさんのチャレンジを待っています。  
では、なぜ留学にチャレンジするのでしょうか。留学には次のようなメリットがあるからです。

- ・異文化の中に身を置くことにより、新たなものの見方、考え方が身に付きます。
- ・言葉の問題など様々な苦労を乗り越えることにより、人間的に成長します。
- ・言葉の壁を超えて他の人々と交流することで、より高いコミュニケーション能力が得られます。
- ・留学先の言語が身に付き、日本以外の国の人々とも堂々と渡り合っていけるようになります。

この他にも、多くのメリットがあります。留学は究極の体験型学習です。ぜひチャレンジしてください。

### 2. 海外留学できる大学について

留学には、大きく分けて、**長期留学**と**短期留学**の2つがあり、下記の大学に留学することができます。  
長期留学対象校（2018年4月1日現在）

国	留学対象校	期 間	時 期
英 国	ロンドン大学 SOAS	1年間	4月～翌年3月
	バーミンガム大学	1年間	4月～翌年3月
	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
アメリカ合衆国	カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
オーストラリア連邦	モナシュ大学	半年間	4月～9月/9月～翌年3月
ドイツ連邦共和国	ミュンヘン大学	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
フランス共和国	アンジェ・カトリック大学	半年間/1年間	9月～翌年3月/9月～翌年7月
スペイン王国	サラマンカ大学	半年間/1年間	4月～9月/9月～翌年3月/ 4月～翌年3月
中華人民共和国	聊城大学	半年間/1年間	4月～7月/4月～翌年3月
大 韓 民 国	延世大学	半年間/1年間	4月～9月/9月～翌年3月/ 4月～翌年3月/9月～翌年7月

※ミュンヘン大学、聊城大学、延世大学とは交換留学を行っています。

短期留学（海外語学演習）対象校（2018年4月1日現在）

国・地域	留学対象校	期 間	時 期
英 国	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	3週間	8月
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	4週間	7月末～8月
オーストラリア連邦	モナシュ大学	5週間	7月下旬～8月
フィリピン共和国	フィリピン中央大学	3週間	7月末～8月
オーストリア共和国	ウィーン大学	4週間/3週間	8月/9月

国・地域	留学対象校	期 間	時 期
フランス共和国	ソルボンヌ大学	4週間	8月
	アンジェ・カトリック大学	4週間	8月
スペイン王国	サラマンカ大学	4週間	8月
中華人民共和国	北京師範大学	3～4週間	8月
台湾	国立台湾師範大学	3週間	8月
大韓民国	延世大学	3週間	8月

### 3. 長期留学

#### (1) 留学に対する様々な支援

長期留学は、半年から1年間、海外の提携大学が提供するプログラムに所属して学ぶというものです。長期留学には**交換留学制度**と**派遣留学制度**がありますが、本学からの留学に関しては、特に違いはありません。

本学は、みなさんが安心して長期留学ができるように、次のようなサポートを提供しています。本学ほど充実したサポートは、他大学ではほとんど見られません。

- 留学先の授業料は、本学が負担します。本学の授業料を納めるだけで留学できます。  
※本学の学費は、支払う必要があります。また、宿泊費や生活費は、個人負担となります。
- 往復の航空券も本学が負担します。
- 「駿河台大学留学奨学金」10万円を支給します（返還義務はありません）。
- 留学期間も、本学で学んだ期間に算入されます。4年間で無理なく卒業することが可能です。
- 留学先での学習内容が本学の単位として認定され、1年間の留学では、最大40単位まで単位を取得することができます。半年間の留学でも、最大20単位程度まで単位を取得することができます。
- 海外留学保険については、大学が指定する保険に個人で加入してもらいますが、24時間サポートなどの追加の費用を大学が負担します。
- その他、様々な支援を受けることができます。

#### (2) 長期留学応募資格

長期留学応募資格は下記のとおりですが、詳細は、グローバル教育センターにお問い合わせください。

- ① 長期留学する時点で、すでに本学において1年以上修学していること。
- ② 必要単位数を修得見込みであること。

1年次終了時		2年次終了時		3年次終了時	
法学部	40単位	法学部	80単位	法学部	110単位
経済経営学部	40単位	経済経営学部	80単位	経済経営学部	110単位
メディア情報学部	36単位	メディア情報学部	72単位	メディア情報学部	108単位
現代文化学部	34単位	現代文化学部	72単位	現代文化学部	102単位
心理学部	34単位	心理学部	72単位	心理学部	102単位

- ③ 基本的に各年次必修科目の単位を修得見込みであること。
- ④ 本学における成績のGPAが2.5以上であること。

### (英語圏に長期留学する場合)

⑤指定された英語力を測るテストで、規定の点数を獲得すること。

※どのようなテストで何点が要求されているのかをきちんと調べ、時間に余裕をもって受検し、必要とされるスコアを手に入れるよう努力してください。

### (英語圏以外の国に長期留学する場合)

⑥留学先の言語を担当する本学の専任教員の**推薦**を受けること。

※留学を希望する学生は、できるだけ早く当該言語の担当教員に相談するようにしてください。

## 4. 短期留学

短期留学は、「**海外語学演習**」(4単位)として実施されます。夏休みに、3～5週間程度、海外の提携大学等で外国語を学びつつ、異文化の中での生活を体験してもらう制度です。

履修登録等必要な手続きを行うことにより、原則として希望者は全員参加することができます。参加を希望する人は、年度初めに開催する「海外語学演習ガイダンス」に必ず出席してください。

なお、この留学の費用は、自己負担となります。

## 5. 英語力を測るテストについて

英語圏に長期留学する場合、下記の英語力を測るテストを受検して必要とされるスコア、レベルを獲得する必要があります。

### (1) TOEIC

TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語を母国語としない人びとを対象とした、英語によるコミュニケーション能力を検定するための試験です。リスニングとリーディングの力が測定されます。

このテストは、東京、埼玉であれば、ほぼ毎月受検できます。ただし、受検するためには、一か月以上前に申込みをする必要があるため、しっかりと予定を立てて受検するようにしてください。

TOEICには、通常のTOEIC L&R、入門レベルのTOEIC Bridge、スピーキングとライティングの能力を図るTOEIC S&Wの三種類のテストがあります。英語圏への長期留学を目指すみなさんは、通常のTOEIC L&Rテストを受検してください。

詳細は、TOEICのサイト (<http://www.toEIC.or.jp/>) で確認してください。

### (2) TOEFL

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人びとを対象に、特に英語圏の大学等に留学するための英語力を測る試験です。

現在実施されているのは、コンピュータを用いるTOEFL iBT (Internet-Based Test) で、大学レベルの英語能力を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの各スキルを組み合わせた形で測定します。TOEFL iBTは、米国の大学に正規に留学するためには必要なテストですが、かなり難しいテストですので、TOEICを受検することを勧めます。

### (3) 英検について

英検は年に3回試験が行われます。この試験を受検するには各人が申込手続きを行い、定められた試験会場で受検する必要があります。詳細は英検のホームページをご覧ください。

英検で2級を取得している人も、TOEICまたはTOEFLを受検してください。

留学制度の詳細については、**グローバル教育センター**にお問い合わせください。